

令和8年7月17日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 <sup>ひびの</sup> 日比野 <sup>かつひこ</sup> 克彦）は、令和8年7月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに163件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は15,041件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

|           | 新規登録  | 累 計        |
|-----------|-------|------------|
| 登 録 件 数   | 1 6 3 | 1 5, 0 4 1 |
| 関係都道府県数   | 2 8   | 4 7        |
| 関係市町村(区)数 | 6 0   | 1, 0 4 8   |

○時 代 別 (件)

|      | 江戸以前     | 明 治      | 大 正      | 昭 和                |                     |                     | 計          |
|------|----------|----------|----------|--------------------|---------------------|---------------------|------------|
|      |          |          |          | 前期<br>(S元～<br>S20) | 中期<br>(S21～<br>S40) | 後期<br>(S41～<br>S64) |            |
| 新規登録 | 1 8      | 5 9      | 3 0      | 3 9                | 9                   | 8                   | 1 6 3      |
| 累 計  | 2, 7 0 3 | 4, 7 0 3 | 2, 9 9 5 | 3, 8 1 8           | 7 1 5               | 1 0 7               | 1 5, 0 4 1 |

○種 別 (件)

|     | 産 業 |       |       | 交通  | 官公<br>庁舎 | 学校  | 生活<br>関連 | 文化<br>福祉 | 住宅    | 宗教    | 治山<br>治水 | 他  | 計      |
|-----|-----|-------|-------|-----|----------|-----|----------|----------|-------|-------|----------|----|--------|
|     | 1次  | 2次    | 3次    |     |          |     |          |          |       |       |          |    |        |
| 新 規 | 0   | 2     | 12    | 0   | 2        | 3   | 2        | 12       | 101   | 29    | 0        | 0  | 163    |
| 累 計 | 141 | 1,524 | 1,822 | 557 | 257      | 466 | 339      | 543      | 6,789 | 2,285 | 225      | 93 | 15,041 |

(件)

|      | 建 築 物      | 土木構造物 | その他の工作物  | 計          |
|------|------------|-------|----------|------------|
| 新規登録 | 1 3 3      | 0     | 3 0      | 1 6 3      |
| 累 計  | 1 1, 9 4 5 | 7 1 6 | 2, 3 8 0 | 1 5, 0 4 1 |

今回の答申における主なもの

① 日本初の植物生態学講座の開講に伴う高山植物の研究施設

001 東北大学植物園八甲田山分園実験棟 青森県青森市 昭和3年／昭和31年・同41年改修

八甲田山の中腹、<sup>すかゆ</sup>酸ヶ湯温泉の近くに位置する高山植物の研究施設。木造平屋一部二階建、切妻造鉄板葺、小屋組はキングポスト・トラス。外壁は下見板張で装飾のある鎧戸を付す。内部は実験室を中心に配する。日本初の植物生態学講座の開講に伴う歴史ある施設。



提供：青森市教育委員会

② 週刊新潮の表紙絵を手がけた谷内六郎の原画を元にしたモザイクタイルが目を引く書店

015 山陽堂書店 東京都港区

昭和38年／昭和50年・平成23年改修

明治神宮の表参道入口角地に位置する書店。鉄筋コンクリート造、三階建地下一階。当初の躯体は昭和6年建築で、前面道路拡幅時に躯体の北端部のみを残存させて現在の規模に再構築。谷内六郎が原案を作成し監修した巨大なモザイクタイル絵が南面全体を飾る。地域のランドマークとなる書店。



撮影：©yuji kimura

③ ヴォーリズ建築事務所設計の礼拝堂と幼稚園が一体となった現役施設

037 <sup>にっぽんせいこうかい</sup>日本聖公会中部教区 <sup>たかだ</sup>高田降臨教会教会堂及び <sup>しやうしや</sup>もみじ幼稚園園舎

新潟県上越市 昭和13年／昭和33年・同50年増築、平成10年改修

旧北国街道沿いの市街地中心部に建つ教会聖堂と幼稚園舎の複合建築。木造平屋建、切妻造棧瓦葺で尖頭屋根の鐘塔を備え、単廊式教会堂と幼稚園ホールが縦列する。ヴォーリズ建築事務所の基本設計による印象的な八角形の塔や尖頭アーチ窓の多用など瀟洒な意匠。



④ 建築家・安藤忠雄氏の初期作にして代表作。現代建築史に残る住宅建築  
079 住吉の長屋(東邸) 大阪府大阪市 昭和51年

住吉大社の南側の住宅地に位置する安藤忠雄氏設計の住宅。長屋一戸規模の鉄筋コンクリート造二階建て、中庭に階段を設け、前後の二階を渡廊下でつなぐ。コンクリート打放仕上の閉鎖的な外観と中庭による開放性を共存させ、都市住宅像の新境地を切り拓いた名作。



⑤ 民間の寄付により長島愛生園入所者が自ら建築したハンセン病患者の住居  
130 十坪住宅(徳島路太利) 岡山県瀬戸内市 昭和13年／昭和中期増築

ハンセン病患者の住宅不足解消のため、徳島ロータリークラブの寄付で建てた住居。園内中央の高台に南面して建つ平屋建切妻造桧瓦葺。西の玄関から廊下で和室十畳に至り、南東に増築浴室を付す。十坪住宅と呼ばれる小住宅で増築部など園内生活の変遷を残す。



⑥ 旧二字町遊郭に唯一残る妓楼建築  
155 旧一心楼主屋 福岡県直方市 大正前期／昭和中期増築

旧二字町遊郭の角地に位置する妓楼建築。二階建桧瓦葺、東西に並べた入母屋造の建物を繋ぎ、北面中央に玄関を設ける。北西隅の土間に面して顔見せ部屋を配し、その境に高欄を設けて装飾する。中廊下沿いに多数の座敷を配する。当地区の歴史的景観を伝える。



撮影：小島健一

<担当> 文化庁建造物課 電話：075-451-4111（代表）  
課長 田中 禎彦  
課長補佐 上田 和輝  
登録部門 結城 啓司、湯浅 環、竹村 亮佑（内線 9755）  
審議会係 鈴木 小百合、中小路 菜三子（内線 9756）